

暑い日が続きます。熱中症に気を付けましょう。気温や湿度の高い日、閉め切った部屋の中は要注意です。

## 美術館の手話解説動画

岡谷市にあるイルフ童画館では9月16日まで「かがくいひろしの世界展」を開催しています。この展示では動画で手話解説を見ることができます。

手話解説を見るためにはスマホやタブレットが必要です。スマホ等に「ポケット学芸員」アプリをダウンロードして使います。

美術館の作品には番号が付いていて、その番号を入れると手話解説動画が流れます。

なお、イルフ童画館内にWi-Fiはありませんのでデータ通信料がかかります。

使い方がわからない場合は、イルフ童画館の受付へお問い合わせください。ダウンロードの方法から手話解説動画の見方を説明します。受付では筆談で対応してくれるとのこと。



## 手話言語の国際デー

9月23日は手話言語の国際デーです。2017年、国連総会で決議されました。決議文には「手話言語が音声言語と対等であること、ろう者の人権が完全に保障されるよう国連加盟国で手話言語についての意識を高めることを促進すること」とされています。



手話言語の国際デー  
ロゴマーク

また、この日は1951年に世界ろう連盟が設立された日です。世界ろう連盟のロゴマークの色は青色です。それにちなんで手話言語の国際デーに世界各地で青色（ブルー）にライトアップすることを呼びかけていま

す。日本各地、また長野県内でもブルーライトアップする予定です。

## 動画をご覧ください

『筆談カフェで楽しくおしゃべり』  
塩尻市で開かれた筆談を使った交流会の様子。

※次回の筆談カフェは8月5日開催です。詳細は信州難聴者協会へお問い合わせください。



『馬留監督と一緒に県大会へ』

諏訪市の馬留友行さんはきこえる子どもたちの野球チームの監督をしています。野球の練習の様子や子どもたちとどのようにコミュニケーションをとっているかを紹介します。



いずれも情報センターホームページの動画チャンネルから見るることができます。

## 聞き取り通訳に便利な機器貸出

手話通訳の際、会場の広さやスピーカーの位置、通訳者の位置等によって、話者の話が聞き取りにくく、聞き取り通訳がしづらい場合があります。そのような時、ワイヤレスPAシステムの送信機・受信機を使うと、音声聞き取りやすくなります。情報センターでは機器の貸し出しを始めました。

送信機（ハンドマイク・ピンマイク）を話者やスピーカーの前に置き、受信機（耳掛け型イヤホン）を通訳者が装着します。受信機は3セットあり、通訳者3名まで同時に使えます。

貸出申請方法は、来所での申請のほか、空き状況を電話で確認の上、貸出申請書に記入し、メール・FAXで送ってください。

貸出・返却の際は情報センターまで来ていただけます。